

令和2年度 厚生労働科学研究費補助金（二次公募）課題（案）一覧

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
臨床研究等ICT基盤構築 人工知能実装研究事業 (AC)	AIを活用した医療安全の確保に向けた取組を推進するための研究 (AC-1)	①電子カルテ情報、検査結果・レポート等の医療情報(空間・ライフデータを含む)及び診療現場のモニタリングで得られる新たな情報を用いて、AI(医療安全AI)を活用して医療安全の確保に向けた革新的な解析技術や業務効率最適化プログラム等の確立。(手術前準備器具、救急カート、病棟処置具の画像解析、インシデント・アクシデントレポートや各種診断レポート、処方データの解析など) ②上記の技術あるいはプログラム等の実証研究の実施及び評価(実用可能性の検証) ③実証研究を行った結果、医療情報の解析が医療安全の確保に資するエビデンスとなり得るのかを示す	20,000程度	3	3
	複数の電子カルテシステムとPHRビューワーを含めた各種Webサービスとの連携のためのクラウド医療連携プラットフォーム構築に向けた研究 (AC-2)	①電子カルテデータを医療連携プラットフォームへ集約させるための課題抽出 ②医療連携プラットフォームと各種Webサービスとの双方向連携を可能とするための統合ソリューションの構築 ③上記ソリューションを用いた一部の電子カルテデータと各種Webサービスとの双方向連携の大規模な実証実験および連携効果の検証。	20,000程度	1	3
倫理的法的社会的課題研究事業 (AD)	国民がゲノム・遺伝子情報により不利益を被ることのない社会を作るための課題整理とガイドライン作成に向けた研究 (AD-1)	①ゲノム医療推進に伴うELSIの整理 ②上記整理を踏まえた、ゲノム医療推進のためのELSIガイドラインの作成 ③ガイドライン作成後の継続的な議論が行える体制の提言	4,500程度	1	3
	保健医療分野における人工知能(AI)の利活用により生じる倫理的法的社会的課題の抽出及び重要度評価と対応策の提言のための研究 (AD-2)	①保健医療分野におけるAIの利活用について、国内外の規制状況、倫理的・法的・社会的課題に係る議論の状況の調査、課題の整理を行い、AIに特徴的な課題を抽出する。 ②AIに特有の倫理的事項について、AI開発・利活用に関与する者が活用できる資料を作成する(例従来からの倫理指針の内容に追加して考慮すべき事項について、研究計画の策定時、倫理審査時に参照可能な資料。AIを利用する医療関係者向けに留意すべき倫理的事項を教育するための資料)	3,000～ 4,000	1	2
研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)

がん政策研究事業 (EA)	希少がんの医療提供体制の質向上及び人材育成に資する研究 (EA-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで作成された各希少がんの診療ガイドラインの作成手法を参考に、臨床現場でのニーズが高い希少がんに関する診療ガイドライン等の作成を行う。 ・ガイドラインの作成を通じて抽出されたクリニカルクエッション (Clinical Question:CQ) に対して、エビデンスの創出に向けた体制を構築し、さらなる臨床研究につなげることを目指す。 ・関連学会等と連携し、希少がん診療に携わる医療者同士の交流を通して、診療および研究に携わる人材を育成するための手法、及び希少がん診療ガイドラインの改定等に必要持続可能な体制を構築するための手法を提言する。 	10,000～ 15,000	1	3
	小児がん拠点病院等及び成人診療科との連携による長期フォローアップ体制の構築のための研究 (EA-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・小児がん患者及びAYA世代のがん患者のフォローアップを行っている診療科の把握を行った上で、小児がん拠点病院等と成人診療科の連携による適切なフォローアップ体制の検討を行う。 ・長期フォローアップのためには自身の病状理解が重要であることから、小児・AYA世代のがん患者に対して年齢に応じた病状に関する情報提供を行う手法を開発する。 ・小児がん及びAYA世代に発症するがんの中で、集約して取り組むべき疾患及び治療方法や、病院間で連携して取り組むべき疾患及び治療方法を明らかにした上で、適切な小児がん及びAYA世代のがん診療体制について提案する。 	10,000～ 15,000	1～2	3
	がん検診の利益・不利益等の適切な情報提供の方法の確立に資する研究 (EA-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・国民が、がん検診の受診を検討する際、がん検診の利益・不利益や、これらのバランスに関しての情報を踏まえて検討できるよう、これまでの厚生労働科学研究の成果に関する活用状況の把握や、その改善点を明らかにした上で、これまでの資料の必要な改善を行う。更に、改善した資料の実際の効果や妥当性についても検証を行う。 ・自治体や保健・医療従事者が、がん検診を実施する際に、がん検診の利益・不利益や、これらのバランスを踏まえた上で対応するための学習や参考として利用可能な教材を開発する。 	5,000～ 10,000	1	3
	子宮頸がんの罹患要素に関する検証及び予防法の普及啓発の研究 (EA-4)	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がんの罹患要素を踏まえた子宮頸がん予防に関する科学的根拠の構築 ・HPVワクチン接種歴の把握方法の確立 ・子宮頸がん予防に関する個人の行動や社会環境の改善方法の開発 	5,000～ 10,000	1	3
	がん対策の企画・立案を目的としたデータ活用方法の確立に資する研究 (EA-5)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国がん登録、院内がん登録、臓器がん登録、これまで行われてきた地域がん登録を含めて、リンクージュ利用などデータを活用する方法を開発する。 ・がん登録の国際間比較を行い、匿名化情報の提供やがん診療情報の収集の仕組みなど、今後の我が国におけるがん登録のデータ収集及び活用について提案を行う。 	10,000～ 15,000	1	3
	遺伝性腫瘍の医療提供体制の整備に資する研究 (EA-6)	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝性腫瘍について、遺伝性腫瘍発症者および未発症者や遺伝学的リスク評価を考慮すべき対象者について国内の実態調査を施行し、遺伝医療の質評価および課題を抽出する。 ・日本の医療体制に基づいた遺伝医療の医療提供体制を検討する。 ・遺伝性腫瘍発症者および未発症者や遺伝学的リスク評価を考慮すべき対象者に対する遺伝学的検査の基準を検討する。 ・遺伝性腫瘍について、遺伝カウンセリングの方法とその提供体制を検討する。 ・遺伝性腫瘍発症者および未発症者や遺伝学的リスク評価を考慮すべき対象者に対するサーベイランスや予防方法の有用性と費用対効果を検討する。 	10,000～ 15,000	1	3

	がん拠点病院やがん患者・家族に対し、がん患者を受け入れられる在宅医や地域医療機関についての情報を共有するための研究 (EA-7)	<ul style="list-style-type: none"> ・がん拠点病院から、引き続き支持療法や緩和ケアが必要ながん患者の紹介を受け入れることのできる在宅医や地域医療機関の現状を把握する。 ・がん患者を受け入れられる在宅医や地域医療機関について、がん患者や家族の目線で分かりやすく、がん拠点病院の医療従事者にも利用しやすい情報サービス(ガイドブックやホームページなど)を作成する。 ・これらの情報サービスを地域で実践し、その効果を検証した上で、地域を拡大した情報システム開発につなげるための方策を検討する。 	10,000～15,000	1～2	3
--	--	--	---------------	-----	---

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 (FA)	心血管疾患の急性期診療提供体制に係る実態把握及び施設間連携手法の有効性等の検証のための研究 (FA-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国における心血管疾患(大動脈疾患、虚血性心疾患等)の急性期の診療提供体制の実態に係るデータ ・我が国における心血管疾患の診療提供体制について、施設間連携の各種手法の安全性、有効性等に関する科学的根拠に係るデータ 	6,000程度	1	3
	国民健康・栄養調査の質の確保・向上のための基盤研究 (FA-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康・栄養調査の標本代表性の確保・向上を図るため、調査協力率に影響を与えている要因の分析等、国民健康・栄養調査の見直しに向けた基礎資料の作成 	9,000程度	1	2
	喫煙室の形態変更に伴う受動喫煙環境の評価及び課題解決に資する研究 (FA-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙可能場所が禁煙場所に変更となった具体的な施設の事例に関する情報収集、設備の実態や業種等の評価・分析 ・禁煙場所に変更した時に講じられた設備面や運用面に関する対策や取組に関する情報の収集、分析及び評価 ・事業者が喫煙店を改修して使用する際や、既存特定飲食提供施設における喫煙室の形態変更を行う際などの参考となる技術的留意事項の提示 	18,000～20,000	1	3
	我が国における公衆衛生学的観点からの健康診査評価に資する研究 (FA-4)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査制度(特に法定外で義務となっていないもの)について諸外国との比較 ・健康診査による集団の健康や費用対効果に関する報告のレビュー ・シミュレーションモデル等も用い、各健診・検診項目について、医学的效果や社会・経済学的効果の評価・整理 ・将来の健康診査制度の在り方の検討するための基礎資料を作成 	9,000～13,000	1	3
	国民の健康づくり運動の推進に向けたNCD対策における諸外国の公衆衛生政策の状況とその成果の分析のための研究 (FA-5)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康日本21(第2次)に掲げられているNCDに関し、世界保健機関(WHO)や経済協力開発機構(OECD)のいて優れているとされる具体的な公衆衛生政策(いわゆる「Best buys」等)に関して、諸外国における施策の実施状況とその成果について文献レビューや実地調査、有識者へのインタビュー等を通じて検証し、基礎資料を作成する。 ・上記基礎資料の結果も踏まえ、我が国としてこれらの公衆衛生政策の導入可能性や、その際の要件、課題等の整理・検証 	14,000～18,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
-------	-------	---------	--------------	-----	---------

女性の健康の包括的支援政策研究事業 (FB)	多様化した女性の活躍の場を考慮した女性の健康の包括的支援の現状把握及び評価手法の確立に向けた研究 (FB-1)	<ul style="list-style-type: none"> 対象の層別(年齢、職種等)に必要な女性の健康支援施策を明らかにし、それぞれの領域(各年齢や職種に応じた対策等)の現状についての評価・整理 現状対策が進みつつある領域において、効果が検証された支援策については、地方公共団体や企業等が実施するために必要な実施手順を解説した手引きの作成 対策が不十分な領域については、予算や必要人員、制度等も考慮した上で、優先的に行うべき取組についての提案 国内外の女性の健康支援に向けた取組の評価手法についての文献調査・整理と、その結果に基づく評価方法の提案 	6,000程度	1	2
------------------------	---	---	---------	---	---

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
腎疾患政策研究事業 (FD)	慢性腎臓病患者(透析患者等を含む)に特有の健康課題に適合した災害時診療体制の確保に資する研究 (FD-1)	<ul style="list-style-type: none"> 過去の都市部、地方において発生した様々な災害対応に関する情報の収集、レビュー。 既存のネットワーク等を活用した現在の災害時診療体制に関する実態調査、課題の評価。 透析医療機関、地方公共団体、患者等における、平時における災害対応の準備及び、災害時における対応の課題等の抽出と整理。 平時における災害対応の準備及び、災害時における対応等に関するCKD診療体制の確保に向けた提言。 災害時のCKD診療体制の確保における先進事例・好事例の横展開。 災害時の透析対応に関する医療機関、地方公共団体や患者等に対する啓発資料の開発と周知。 成果のホームページ等における見える化に向けた検討案の作成。 	5,000程度	1	3
	慢性腎臓病(CKD)患者に特有の健康課題に適合した多職種連携による生活・食事指導等の実証研究 (FD-2)	<ul style="list-style-type: none"> CKD特有の健康課題に適合した多職種連携による生活・食事指導に関する実態調査、エビデンス構築、課題の評価。 課題解決のための戦略案の策定。 関係学会等による既存の成果も参照しつつ、CKD特有の健康課題に適合した多職種連携による生活・食事指導等に関するマニュアルの作成等を行うこと。 実証研究を行った結果、多職種連携による生活指導・食事指導等が慢性腎臓病における予防・重症化予防に資するかどうかのエビデンスを示すこと。 成果のホームページ等における見える化に向けた検討案の作成。 	10,000程度	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
障害者政策総合研究事業 (GC)	精神保健医療福祉施設におけるトラウマ(心的外傷)への対応の実態把握と指針開発のための研究 (GC-1)	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健福祉センター、保健所、医療機関、児童相談所等におけるトラウマへの対応についての実態の整理や課題の整理(トラウマに関する評価方法・理解・態度、トラウマへの対応・連携体制等)。 精神保健福祉センター、保健所、医療機関、児童相談所等が活用できるトラウマへの対応に関する指針の作成と検証。 精神保健医療福祉施設におけるトラウマへの対応方策等に関する提言。 	8,000程度	1	3

(GC)	<p>【再公募】 ペアレントトレーニングの効果測定尺度の開発及び 実施者養成研修カリキュラム作成のための研究 (GC-2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングの実施の効果を測定するための尺度の開発 ・ペアレントトレーニングの地域普及に向けた実施者養成研修カリキュラムの作成 	7,000程度	1	2
------	--	--	---------	---	---

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 (HA)	<p>【再公募】 新型インフルエンザ等の感染症発生時のリスクマネジメントに資する感染症のリスク評価及び公衆衛生的対策の強化のための研究 (HA-1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ発生時における迅速な疾病負担(医療需要等)の把握手法の開発 ・新型インフルエンザ発生時における初期の症例数の把握手法の開発 ・新型インフルエンザ対策として備蓄されている抗インフルエンザ薬及びワクチンのリスクアセスメントに応じた運用方法の調査結果 ・新型インフルエンザ対策におけるワクチン接種方法の運用の適正化及び効率化に向けた検討。 ・新型インフルエンザ等の患者発生時、接触者の把握を効率的に行う手法の開発。 	8,000程度	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
食品の安全確保推進研究事業 (KA)	食品中の放射性物質等検査システムの評価手法の開発に資する研究 (KA-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・野生きのこ類の非破壊検査をはじめとした食品中放射性物質の検査について、汚染状況と精度も考慮した上で、地方自治体等が対応できる検査手法を検討し、提案する。 ・厚生労働省が公表する食品中の放射性セシウム検査データを解析し、経時的濃度変化、食品群間の変動、加工食品中の放射性物質濃度等についての情報を得ることで、前年度までのガイドライン改正による検査結果への影響を解析する。 ・新たに評価が必要とされる放射性核種等について食品中に含まれる量の分析を行う。 ・食品中放射性物質に関する消費者への効果的な情報発信方法を検討する。 	11,000～ 12,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業 (KC)	薬剤師の専門性に基づく薬学的管理の実施方法等の調査研究 (KC-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国及び海外における薬剤師の専門性に係る資格の認定制度等の実態調査 ・実態調査や最新の薬物療法の状況等を踏まえ、今後の薬局及び医療機関に従事する薬剤師に求められる、①専門性の考え方や薬学的管理等の業務、②専門性を確保するために必要な研修等の内容、③専門性に係る資格の認定制度等の質を担保するための仕組みの提言 	8,000程度	1	3
	薬剤師の職能発揮のための継続的な薬学的知見に基づく指導等の方策についての調査研究 (KC-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局及び医療機関で現在実施されている、患者に対する服用期間を通じた継続的フォローアップの事例収集 ・薬剤師・薬局や患者を対象とした、かかりつけ薬剤師・薬局の業務に関する実態調査(一部の地域ではなく、全国を対象として調査を行うこと) ・服薬状況の継続的なフォローアップを行うことが効果的な事例(薬剤の種類、患者の状況、その他の要件)のまとめ ・薬剤師の職能を発揮し、質の高い薬学的管理を提供するための方策の提案 	8,000程度	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
健康安全・危機管理対策 総合研究事業 (LA)	障害者等の要配慮者における熱中症予防の情報発信の効率化に向けた研究 (LA-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の種類や程度により注意すべき点の整理、それぞれに応じた効果的な情報発信手法の整理 ・自治体や企業等で実施している障害者等に対する熱中症対策の事例収集 ・介助者や周囲の人が障害者等の熱中症予防に対して適切に対応するための資材の開発 	5,000程度	1	2